

お正月を遊ぶ —懐かしき玩具の世界—

平成6年1月5日(水)～21日(金)

新年を迎えると言っても、昔ながらのお正月らしさは次第に失われつつあるこの頃です。それでも、お正月と言えば思い浮かべる玩具があります。ここに集めた本で、しばし昔々の子供たちの姿に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。

展示資料リスト

<>内は当館請求記号

1) うなゐのとも

清水晴風, 西沢笛畝編

京都 芸艸堂 1891—1924 全10冊

<16-143>

「うなゐ」とは幼い子供のこと。日本各地に伝わる玩具をカラフルな絵入りで紹介している。全10冊のうち初編から6編までを清水晴風が、清風没後7編から10編までを西沢笛畝が編集した。

2) 複製版画双六

唐沢富太郎解説

東京 装飾美術社 1975 図23枚 解説2冊

<YP14-221>

明治時代のものを中心に、教育双六、遊戯運動双六、風俗・滑稽双六、歴史・地理双六あわせて18点を原画大で復刻。大正初期のさいころ1個を付す。

3) 日本の凧

新坂和男編

東京 角川書店 1978 62p 図版253p

<YP13-270>

日本各地の凧の図版。全ての凧の骨組み図と解説を巻末に付す。

